

町の生活情報紙
— UDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

6

9, June
2011
Vol.1011

響け、希望の旋律

写真 / 町消防団音楽隊の皆さんは、東日本大震災により山形県飯豊少年自然の家に避難している方たちを音楽の力で元気づけました

- 03 特集◎東日本大震災から学ぶとき
- 04 「自助」家庭でできる防災対策を整理
- 06 「公助」被災地で支援活動に当たった行政機関職員に聞く
- 08 「共助」災害時における住民パワーについて聞く
- 10 健康ikiiki 注意!!町民に多い脳卒中
- 12 まちかどNEWS
奥田シェフといいでの春をおいしく食べよう会／第一小学校ユリ球根贈呈式／沖部落 菜の花祭ほか
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 17 第三セクター経営状況・決算の報告
- 18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 クローズアップ①
にぎわい茶房～現代版「井戸端のにぎわい」へ～
- 22 クローズアップ②
にぎわい再現プロジェクトII「始動」
- 24 町宝いいで ～上屋地遺跡～

It's New!

町のホームページが新しくなって 情報がさらに探し やすくなりました

町のホームページがリニューアルされました。大きなアイコンとすっきりとしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単に探すことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp

今月の 表紙



the most beautiful
villages
in japan

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

避難所に響く旋律 心落ち着くひと時を



消防音楽隊は演奏のほか、合唱も披露。会場はなごやかな雰囲気に包まれました

5月8日、町消防団音楽隊は、東日本大震災で飯豊少年自然の家に避難している人たちを励まそうと同施設内で演奏会を行いました。アニメや映画のテーマソングなど子どもから大人までなじみある曲を次々と演奏。避難者と関係者約40名が耳を傾け、心落ち着くひと時を過ごしました。避難者の方からは「一緒に歌を歌ったりと、ストレス解消になり楽しかったです」との感想が聞かれました。

東北地方太平洋沖地震 3月11日 14時46分 東日本大震災 日

本での観測史上最大、マグニチュード9・0 避難所生活 安全神話崩

壊 福島第1原発 未曾有の国難 トモダチ作戦 復旧のシナ

リオ 計画停電 家族を探す避難者 巨大地震と巨大津波 自

動車産業操業停止 冷静な国民性、世界から賞賛 高度400メートルか

ら無人飛行機で撮影 折り重なる大型船 想定外 仮設住宅 仙

台空港壊滅 阪神大震災を大きく上回る 戦後最大の自然災害 レ

ベル7 放射能防護衣 人命救助隊の活躍 発生から1

カ月、死者14,608人、行方不明者14,608人 避難所数2,383カ所 全

壊建物9都県48,605戸 ライフラインの復旧 危機管理 日本国民

の美德 活発な余震 タービン建機の高濃度汚染水 炊き出し支

援 メ 東日本大震災発生から約3カ月。 私たちは、被災した人たちの悲しみを共有しつつも、

ガス漏れ火災の発生 緊急消防援助隊山形県隊が懸命の捜索活動 高さ約10

メートルの煙がビルを覆った。 政府が緊急災害対策本部設置 東北6県の停電

は約440万戸に上った。 東日本大震災発生から約3カ月。 市場の日経平均株価終値が過去3

番目の下落率に陥った。 観光客激減 予備自衛隊 原子力安全・保

安院 節電啓発担当 不足するガソリン 住民の集

えるように呼びかけた。 先般、東北地方の被災地を視察した。 買占めを控

団避難先 風評被害 がんばろう日本 地道な救援活動

者と共にありたい。 帰宅難民 夏の電力不足、削減目標15パーセント

流された思ひです。 エネルギー政策の転換 浜岡原子力発電所運転

スーパーコンビニ 田畑に津波の塩害 自粛ムード PTSD 外国人留学

停止 生など一斉に帰国 助け合う地域住民 液状化現象 自主避難

ガソリンスタンドに長い列 東日本大震災復興構想会議 住民の強制

的な避難 大規模な復旧予算 がれき処理0.3兆円規模 巨額に上

る事故の賠償 全国からボランティア 石棺方式と水棺方式 計画

的避難区域 化石燃料への回帰による地球温暖化対策 東北新幹線が運

転再開 天皇陛下のお言葉 防災計画の見直し がんばろう！東北

東日本大震災から

学ぶとき

特集◎

東日本大震災発生から約3カ月。私たちは、被災した人たちの悲しみを共有しつつも、あらためて「自然の脅威」を直視し、震災で得た経験が無駄にすることなく「災害に強いまちづくり」を進めていかなければなりません。災害時に必要とされる「自助」「公助」「共助」をキーワードに、東日本大震災から学ぶべき「防災」についてレポートします。



自助とは、自分の命は自分で守るということ。

東日本大震災では、瞬時に判断し的確に避難できたか否かが、生き残る鍵となりました。

それには、日ごろからの防災意識と備えが欠かせません。

家庭でできる災害対策を整理しました。

知っておこう！安全・迅速な避難のために

【避難の心得10カ条】

- | | |
|--------------------|------------------|
| ①まずは身の安全を守る | ⑦山崩れ、がけ崩れに注意 |
| ②すばやく火の始末を | ⑧避難は徒歩で、荷物は最小限に |
| ③戸を開けて出口を確保 | ⑨協力し合って応急処置 |
| ④火が出たらすぐに消火 | ⑩正しい情報を聞き、的確な判断を |
| ⑤急に外へ飛び出さない | |
| ⑥狭い路地やブロック塀には近づかない | |

【町の指定避難場所】

区分	避難場所	備考
中部地区	第一小学校	中、萩生、黒沢
白樺地区	第二小学校	椿、小白川
東部地区	添川小学校	添川、松原
西部地区	手ノ子小学校	手ノ子、高峰
中津川地区	中津川小学校	

【町の指定避難所】

区分	避難所
中部地区	第一小学校、中部幼稚園 中部地区公民館、さゆり保育園
白樺地区	第二小学校、飯豊中学校、町民総合センター、白樺地区公民館、つばき保育園
東部地区	添川小学校、添川児童センター 東部地区公民館
西部地区	手ノ子小学校、手ノ子幼稚園 西部地区公民館
中津川地区	中津川小中学校、高齢者介護予防センター、中津川地区公民館

日本列島の断層は、大陸側のプレートの下に太平洋プレートが沈み込んでいる構造のため、日本列島には常に大きな力が加わっています。これによって生じた歪みが断層です。内陸部の地表面に近い活断層の多くは、数千年〜数万単位で活動を繰り返すと言われています。しかし、いつ起こるか、だれも正確に予測はできません。

東日本大震災は、人の動きが活発な日中に起きました。もし本町で、寝静まった深夜に、しかも豪雪の冬に同規模の大地震が起きたとすれば、どれほどの人命や建物に被害が出るか想像

知っておこう！町を貫く活断層帯 長井盆地西縁断層帯

長井盆地の西側に沿って南北に伸びる断層帯。長さは、朝日町から米沢市までの約51kmにおよび、ひとたび地震が発生すれば、ほぼ置賜全域で被害を受けることに。



町内の震度分布を見ると断層帯周辺で震度7、そのほかの居住地域では震度6強〜6弱の揺れがあると予想されています。

◆今後30年以内の発生確率

0.02%以下（平成17年2月公表）

※2007年の能登半島地震は、0.1%未満の予測で発生

◆想定される被害

【死者・負傷者数】

昼間人口	夜間人口	夏季昼間(13時)		冬季早朝(6時)	
		死者	負傷者	死者	負傷者
8,120	9,204	17	307	50	631

【建物被害数】

建物総数	夏季		冬季	
	全壊棟数	半壊棟数	全壊棟数	半壊棟数
5,030	734	1,117	834	1,269

平成18年3月山形県「山形県地震被害想定調査～長井盆地西縁断層帯及び庄内平野東縁断層帯～調査報告書」より

今こそ防災を真剣に考える

私たちは、東日本大震災の被災地の惨状を報道で見るとついで、胸が張り裂けそうになります。このような悲劇が繰り返されることのないよう、行政機関だけに限らず、住民一人一人が自然災害への備えを強化していかなければなりません。

本町で起こりえる自然災害は、地震、昭和42年の羽越水害のような洪水、豪雪など。中でも地震は、長井盆地西縁断層帯や山形盆地断層帯による直下型地震が町へ大きな被害をもたらすと想定されています。

今日からできる！ 我が家の防災対策



STEP1 災害に備えた家族会議

災害発生後の安全な避難と家族の離散を防ぐため、家族みんなで非常時の対応を定期的に確認しておくことはとても有効です。

【家族会議の例】

- 災害時の連絡方法（災害用伝言ダイヤルなど）
- 災害時の避難場所・ルートの確認
- 家の中に倒れる恐れがある家具などがないか確認
- 非常持ち出し品・備蓄品の確認
- 体の不自由な家族の避難方法



STEP3 安否確認のNTT伝言ダイヤル

災害時、被災地の電話は長期にわたりつながりにくくなります。家族の安否確認や自分の安否を知らせるには、災害用伝言ダイヤルが有効です。伝言ダイヤルは、固定・携帯電話どちらでも利用できます。

【伝言を録音する】

- ①「171」をダイヤルし、「1」を押す
- ②ガイダンスに従い、自分の安否確認に利用される可能性の高い固定電話の番号を登録（携帯電話の番号は不可）
- ③30秒間で音声吹き込み

【伝言を聞く】

- ①「171」をダイヤルし、「2」を押す
- ②ガイダンスに従い、相手の登録番号を押す
- ③相手の吹き込んだ録音内容が再生される



STEP2 非常時持ち出し品・備蓄品

リュックサックなどに入れておき、避難時に持ち出す「非常時持ち出し品」と、避難後の生活を支える「備蓄品」に分けて、災害に備えましょう。

【非常持ち出し品の例】

- 携帯用飲料水
 - 食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
 - 貴重品（預金通帳、印鑑、現金など）
 - 救急用品・常備薬
 - ヘルメット、防災ずきん
 - 軍手（厚手の手袋）
 - 懐中電灯
 - 衣類（セーター、ジャンパー類）
 - 下着
 - 毛布
 - 携帯ラジオ・予備電池
 - マッチ、ろうそく
 - 使い捨てカイロ
 - ウェットティッシュ
 - 筆記用具（ノート、えんぴつなど）
- 小さな子どものいる家庭
- ミルク
 - 紙おむつ
 - ほ乳瓶



【非常備蓄品の例・1人分】

- 飲料水 9リットル（3リットル×3日分）
- お米 4～5食分
- ビスケット 1～2箱
- 板チョコ 2～3枚
- 乾パン 1～2缶
- 缶詰 2～3缶
- 下着 2～3組
- 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど

※消費期限など、中身は年に1回は点検をしましょう。

に難くありません。自然の脅威に無力感を感じるかもしれませんが、私たちは自分自身と家族の命を守る使命を忘れず、「万が一に備える」ことが重要です。その第一歩は、家族間で防災対策を確認し合うことです。大げさに聞こえるかもしれませんが、避難場所とルートの確認、非常時の持ち出し品・備蓄品のチェック、NTT伝言ダイヤルの使い方など、できることから始めてみてはいかがでしょうか。また、災害時に家族が負傷した場合、平時のように救急車を駆け付けてはくれません。自分たちで応急手当をする場面が求められます。出血、やけど、骨折などの対処、人工呼吸。その知識と技術は、家族の命を守ることにつながります。では、どこで学ぶことができるのでしょうか。本町には、「いいで応急手当普及員会」(消防署飯豊分署72-2222)があります。普及員会は、自治会、サークルなどの単位で出前の講習会を開き、役立つ応急手当の方法をレクチャーしてくれる組織です。機会を得て、家族ぐるみで参加することをお勧めします。家族でできる防災対策は何か、今だからこそ、真剣に考えるタイムリングを逃してはいけません。

参考資料／山形県「平成18年5月・長井盆地西縁断層帯地震被害想定調査～概要版～」、飯豊町「飯豊町洪水ハザードマップ」、消防庁「わたしの防災バイバル手帳」、(株)エフエム山形「地震・防災ハンドブック(改訂版)」



公助

chapter 2

公助とは、役場や消防署・警察・自衛隊などによる公的な救助活動や支援物資の提供などを言います。

東日本大震災では、行政機関の職員も多く被災し、「公助」の役割を十分に果たすことが困難になっています。

被災地に赴き、支援活動に当たった行政機関職員にインタビューしました。

Sakai Hiroshi

**初期の救助活動は、
すべて人海戦術。
相当の時間と労力を要する。**



震災発生直後に被災地へ
緊急消防援助隊山形県隊として出動

西置賜行政組合消防署飯豊分署消防士

酒井 浩 主任

(長井市・36歳)

震災発生から3日後の3月14日から5日間にかけて、緊急消防援助隊山形県隊の一員として、岩手県大船渡市で行方不明者の捜索活動に当たりました。緊急消防援助隊とは、大災害時に消防長官の要請を受け、県知事の指示のもと被災地へ応援出動するものです。西置賜行政組合消防署員は、4月末までの間、第6次隊まで、延べ約40人が被災地でその任務に当たりました。

被災地はまさしく、かつて本で見た「戦争の焼け野原」を思わせ、どこから、何をすべきか、頭が真っ白になりそうでした。捜索活動は、がれきの中で生きているかもしれない人たちの命を最優先するため、パワーショベルのような重機は使わず、人海戦術によるローラー作戦で行われました。私たち消防隊員のほか、地元消防団、警察、自衛隊の方々と横一列になって前進し、しらみつぶしに捜索します。とびを払い、積み重なるトタンや板を一つずつ取り除きながら行方不明者を探し、根気のいる作業でした。

足場は悪く、倒壊した家屋には所々で釘がむき出しになっており、注意を払わなければなりません。また、余震が継続していたため、万が一、津波が押し寄せた場合、どこへどのよう逃げかを考慮しておく必要もありました。いち早く少しでも多くの方をがれきの中から救ってあげたいという気持ちに焦りながらも、作業は慎重さを求められ、相当の時間と労力を強い

Takahashi Shigeki

**少しでも多くの地域へ水を
届けたいと願うも、
給水活動は時間との戦い**



日本水道協会の要請で被災地へ
町の給水車で給水支援活動に従事

役場地域整備課上下水道室

高橋 成樹 主査

(添川・42歳)

多い時には浄水場から給水場所まで1日6往復できましたが、片道平均で30分ほどあったため、輸送に多く時間を費やしました。また、1人当たりの給水時間は30分から40分程度かかり、少しでも多くの地域へ水を届けたいと願うも、時間との戦いでした。地震の影響で道路は波を打っていたり、亀裂もあって慎重な運転が求められました。また、多くの建物が倒壊したり流されたりしたため、目的地まで目印になるものはなく、現地の人案内は必要不可欠でした。給水活動中は当然ですが、被災者の方への言葉遣いや態度に十分注意を払いました。電気も水もない生活を長期に強いられ、相当にストレスを感じていることが場の雰囲気

自力で避難が困難な方を災害から守るために

災害時要援護者個別避難支援計画を実施

災害時要援護者個別避難支援計画とは

町では、地震や火事などの災害発生時に自力での避難が難しいと想定される方を災害時要援護者（以下、要援護者とする）と定め、個別の状況に合わせた避難支援計画を実施します。そ



のため、要援護者の身体状況や家の間取り、家族の連絡先などを把握し、個別の台帳として町が保管します。さらにそれらの情報を民生委員・児童委員、自治会、消防団などの関係者で共有し、迅速な支援を目指します。

本計画は、地域の助け合いを基本としたもので、地域の安全・安心を強化する狙いがあります。

災害時要援護者について

災害時要援護者とは、下記の①～⑤のいずれかに該当する在宅の方を対象とします。

- ①要介護認定3～5の方
- ②身体障害者手帳1級および2級の方
- ③療育手帳A判定の方
- ④一人暮らしの高齢者・高齢者のみ世帯の方
- ⑤民生委員・児童委員が特に支援が必要と認めた方

避難支援者の協力で避難の支援を実施

本計画へ災害時要援護者として登録することで、近隣の方からの声掛けや災害時の安否確認、避難誘導などの支援を受けることができます。これは避難支援者と呼ばれる方のボランティアによって成り立つものです。

避難支援者について

避難支援者は、登録者本人が近所で最も信頼できる方を指名し、町が避難支援者の協力依頼を行っているものです。避難支援者には主に要請のあった登録者への声掛けや安否確認、避難誘導などの支援を行っていただいています。

登録および計画の詳細について

登録は、町健康福祉課福祉室で随時受け付けています。登録の際には本計画の内容を詳しく説明の上、必要書類に記入、押印などをお願いしています。

なお、登録台帳は本人が同意した関係機関以外が閲覧することはありません。

◆問合せ先／町健康福祉課福祉室 ☎86-2233



緊急消防援助隊山形県隊の救助活動の様子

られました。災害時に、行政機関を頼ることは当然のことですが、今回の救助活動を通して、あらためてその限界を感じました。災害発生直後は、機械に頼ることはできず、人の力で対応するしかないのです。そのため住民の皆さんの手助けは大きな力となります。私たちが消防車で被災地に入った際、沿道で深々と頭を下げて迎え入れてくださった人たちの姿が、今も目に焼きついて離れません。



南三陸町での給水支援活動の様子

から伝わってきたからです。現地の人の話を聞くと、震災直後は、住民同士でルールを作り厳守していたといいます。しかし、長期化し、刻々と状況が変化する中、不平不満が噴出し、ルールが乱されたこともあったそうです。厳しい状況下でいかに住民同士助け合う心を保つか、高齢者や障がい者にも配慮したルールを作ることができると、また状況に応じてルールを見直せる柔軟性があるか、それが重要だと感じました。



共助

Chapter 3

共助とは地域の人たち同士で救助や消火活動を行うなど、互いに助け合うことを言います。住民同士の助け合いは、多くの命を救い、被災したまちの復旧にも大きな力を発揮します。災害時における住民パワーについて、それぞれの立場から話を伺いました。

Endo Setsuko

地域の皆さんの支援に深く感謝したい

東部地区公民館職員

遠藤 節子 さん

(添川・55歳)



Takahashi Toshikazu

組織があったからこそ住民一体の行動ができた

中ノ目南部落自主防災会会長

高橋 利一 さん

(萩生・64歳)



地区が停電に見舞われ、中ノ目南部落自主防災会は独自に対応

町内でのような大きな揺れを感じた地震は、私が高校生（昭和39年）の時の新潟地震（昭和39年）以来ではないでしょうか。

発生直後に地区一帯が停電に見舞われました。ラジオで情報を得るも、これほどの大災害であるとは認識できず、テレビを初めて見た時は驚きを隠せませんでした。

停電は夜までには復旧するだろうと見込んでいましたが、念のため、私と副会長で、一人暮らしの高齢者を回り、状況を確認しました。

翌朝になっても電気は復旧しませんでした。ただし、後でわかったことですが、同じ地区内でも一部ではその日のうちに復旧していたようです。

電気がこないことで懸念したのは、寒い日でしたので、暖を取れない家庭があることでした。自主防災会内の各班長に連絡を取り、全世帯の状況確認を要請しました。さらに、公民館を住民の避難所として開設することを決定し、暖や食事を取れない世帯に避難するよう呼びかけました。

また、町の計らいで館内の調理室を開放したことは、避難者同士が協力して食事の準備をすることになり、コミュニケーションを深めるきっかけになったように見受けられました。

原発事故を受けて東部地区公民館は、第一次避難所となった

原子力発電所の事故を受け、公民館が第一次避難所になるとの報告を受けたのは、3月15日のことで、避難者の方が来る前日のことでした。

町職員の方が、親族同士だという女性3人を案内されたのを皮切りに、続々と避難者が来館され、気づけば、初日だけで41名にまで達していました。昨日までテレビで見ていた避難所生活が目の前に広がり、戸惑わずにはいられませんでした。

約2カ月にわたる避難所運

営の中で、最もありがたかったのは地域の皆さんのご協力にほかなりません。東部地区の佐原守部落長会会長が統率し、各部落が輪番制で食材を中心に支援していくことを早い段階で決めました。家の越冬用の野菜も尽きかけ、お店が品不足になる中でも欠かさず届けてくださいました。住民の皆さんの人情深さをあらためて痛感しました。

その気持ちも伝わり、避難者の方々は安心して生活することができたと思います。

町の対応については、灯油を詰めるだけでも、いろんな担当者に取り次がれ、返事が出るまで時間がかかりました。組織的な事情はわかりませんが、町営の避難所である以上、もう少しスピード感があれば良かったと感じました。

東日本大震災を受けて町は

防災設備の充実と共に 住民の防災意識高揚が不可欠

広範囲で長時間にわたる停電、燃料不足、避難者受け入れなど、東日本大震災は本町の生活にも大きな影響を及ぼしました。

町は地震対策本部をいち早く立ち上げ、対策を講じてきました。その一方で、防災の課題も浮き彫りとなりました。今後、段階を踏んで、主に次のことを検討し進めていきます。

- ①停電時における行政機能を確保するため役場庁舎に自家発電機を整備
- ②水、非常食、生活物資、燃料などの備蓄
- ③携帯電話のEメールや屋外拡声器などを使った住民へ迅速で確実な災害情報の発信
- ④学校、水道施設など公共施設の耐震化

上記の④に関して、町では現在、小学校の耐震化事業を進めています。昭和56年以前に建築確認を受けた建物を対象とし、昨年度は第一小学校の耐震診断・耐力度調査を実施。今年度は手ノ子小学校、来年度は中津川小学校を計画しており、その結果に基づき、必要な耐震工事を行います。同様に、ライフラインである水道施設においても今年度、町内全域の配水池の耐震診断を計画しています。

災害時における外部からの支援体制として、町は現在、千葉県南房総市をはじめ県内外の自治体と相互応援協定を締結しています。さらに町内の建設会社、郵便局、NPO法人コメリ災害対策センターなどとも協定を結び、民間の持つ技術やネットワークの有効活用を支援の中に取り込んでいます。

ただし、東日本大震災でわかるように、どんなに防災設備を整えても自然災害に対して「完璧」はありません。防災設備の充実と共に重要なのは地域の防災意識の高揚だと考えます。そのため町は自助・共助の精神に基づき、地域の自主防災組織の育成に引き続き力を入れていきます。今年5月末日現在で、町内の自主防災組織の数は16組織。全世帯数に対する組織率は約41%にすぎません。役場住民税務課生活環境室ではさらなる組織化を図るため、結成までのサポートや資機材整備のための助成金の相談などを行っています。

「自分の命は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る」ことが、自然災害で犠牲者を出さない第一歩だと考えています。

防災士 佐藤正彦さん

expert interview

ボランティアの力

ボランティアの受け入れ体制が整い始めた4月中旬から週1回のペースで、宮城県の被災地に赴き、微力ながら復旧のお手伝いをしています。

「図らずも昨年未、20年間務めてきた消防団員の経験を生かし、防災士の資格を取得してました。被災地の隣県に住む者として、動かなければならないという意志に駆られたのです。」

NPO法人山形ボランティア隊の参加や、日本防災士会などを通じて現地入りし、これまでに石巻市、亶理町、多賀城市などで活動してきました。活動内容は民家やガソリンスタンド、農業施設などがれき撤去、それに道路側溝の汚泥除去などで

す。現地でもやるべきことは、がれき同様に山積しており、今も多くの手助けを求めています。

ボランティアは自己責任が鉄則です。現地の指示に従って活動しますが、安全管理は自分で律しなければなりません。また、現地のために「してあげている」という思い込みが住民の人の反感を買うことがあります。被災地の方の心情を有言無言に受け取れることもボランティアの一つであり、共に「復旧」という同じ方向を目指す姿勢が大切ではないでしょうか。

ある居住地で、津波に流された軽自動車や道路をふさぎ、通行の大きな支障となっていました。軽自動車は水を含んで重さを増し、動かすにも辺りに建設機械はありませんでした。それでも、所有者の許可を得て、15人で力を合わせ、サイコロのようにならして自動車を移動させました。やり遂げたときの仲間表情は今も忘れられません。

行政は地図を描き、計画を立ててから行動に移すのに対し、ボランティアは限られた時間の中で、自分たちのできることをその場で最大限発揮しようとする違いがあります。職業、年齢、性別の異なる人たちが集い、知恵を出し合って活動するため、同じ方向を向いた時、とても大きな力になります。両者の利点を組み合わせることが、災害時には重要だと考えます。

Sato Masahiko

ボランティアの力が結集したとき、行政とはちがう原動力で、大きな力を発揮する

防災士

佐藤正彦さん

1960年1月生まれ。会社員。10年12月、日本防災士の認定を受ける。町消防団に約20年間奉職し、分団長などを歴任。現在は、いいで応急手当普及員会副会長を務める。黒沢在住



【防災士】 減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、そのための意識・知識・技能を有する者。NPO法人日本防災士機構が認定。全国に約44,000人、県内では約390人が登録する。



Karte ①

注意!! 町民に多い脳卒中

health column

このコーナーでは、健康に関する身近なテーマを取り上げ、町民の皆さんが今すぐできる健康づくりを提言します。

資料提供/公立置賜総合病院脳神経外科 参考資料/山形県国民健康保険疾病分類別統計

1人当りの平均医療費の比較

	男性	女性
山形県	26,508円	19,057円
置賜地区	27,870円	20,741円
飯豊町	28,979円	25,200円

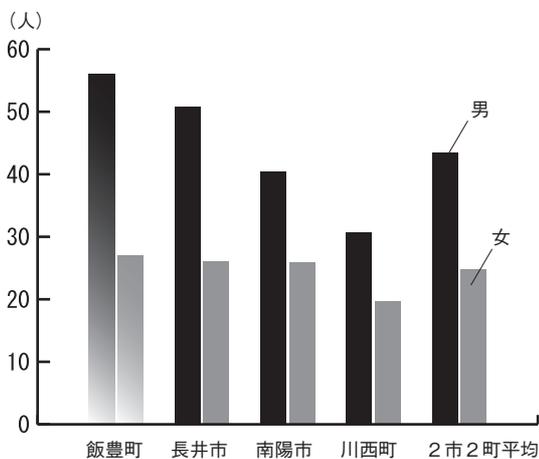
※平成22年5月、国民健康保険加入者診療分

町内における疾患別医療費ランキング

疾病名	金額(千円)
①循環器系	11,184
②精神等障がい	4,667
③消化器系	4,338
④新生物	3,140
⑤神経系	2,792

※平成22年5月、国民健康保険加入者診療分

人口10万人に対する脳内出血発症者数



※公立置賜総合病院脳神経外科調べ

※調査対象は2000年11月～2010年10月

※高齢化など年齢構成の影響を取り除いて集計されたものです

医療費からわかること

男性が2万8979円。女性が2万5200円。これは、本町の国民健康保険加入者の昨年5月中にかかった一人当りの医療費を調査したものです。県平均では男性2万6508円、女性1万9057円。比較すると、かなり高いことがわかりました。その原因は何なのか。医療費をさらに分析してみます。

脳卒中は身近な病気
循環器系には、高血圧症、心疾患、脳卒中、動脈硬化症などの病気が含まれており、中でも本町は脳卒中

本町の医療費を疾病ごとに合計してみると、最も高かったのは、循環器系で1118万円。次いで精神等障がい466万円、消化器系433万円の順になっています。循環器系は、全体の約3割を占めています。

(くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など)による医療費が県内の市町村と比較して高いことがわかりました。脳卒中中で受診した町民の1人当りの平均医療費は男性19万5759円、女性22万1688円。これに対し、県平均は男性7万6029円、女性5万8383円。県平均の2倍から4倍近くも脳卒中の医療費がかかっていたのです。この数字は、男性が県内ワースト2位、女性はワースト1位という結果でした。

実際に他市町と脳卒中中の発症者数を比べてみます。左のグラフは、公立置賜総合病院が、10万人当りの脳内出血発症者数を10年間にわたり集計したものです。同病院を構成する他市町と比較し、男女共に本町の患者数が最も多く、特に男性はひと

わ高いことがわかります。脳卒中は、寝たきりになるリスクが最も高い疾患。その予防は重要な課題といえます。

脳卒中発症の原因

脳卒中の原因には、高血圧症、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高いこと、不整脈(特に心房細動)、喫煙、飲酒などがあるとされています。

脳卒中は、生活習慣の乱れにより、血液中に含まれる糖分や塩分、脂質、アルコールなどの濃度の高い状態が続くと、脳内の血管そのものもろくなり、破れたり詰まったりして、生命に関わる危険性があります。中でも高血圧は、脳内出血の原因の大半を占めます。高血圧が長引く



財団法人日本遺族会会長表彰
木村勝男さん（萩生）

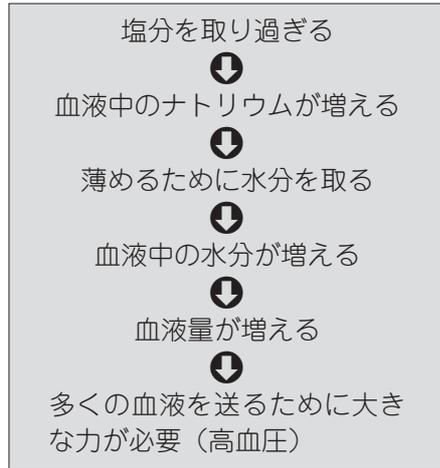
町遺族会会長を務める木村勝男さんはこのほど、長年の功績が称えられ、(財)日本遺族会会長表彰を受賞しました。木村さんは、遺族相談員や山形県遺族会理事なども務め、遺族の援護に尽力されています。「会員が高齢化していく中で、戦争の悲惨さをどのように次の世代に伝えていくかが今の課題です」と現状を話してくださいました。



山形県食生活改善推進協議会
名誉会員賞
長谷川きよさん（黒沢）

91歳の今も現役で食生活改善推進員を務める長谷川きよさんはこのほど、その功績が称えられ山形県食生活改善推進協議会名誉会員賞を受賞しました。「健康にはやっぱり食事が基本。長生きして健康づくりの普及に努めたい」と長谷川さんは今後の活動にも意欲をみせてくれました。

■ 塩分と高血圧の関係



と、脳の深い部分へ栄養を送る小動脈の動脈硬化が進行します。この状態を放置しておくとも血管はしなやかさを欠き、血圧の変化に耐えられなくなり、血圧がさらに上がった際、切れて出血すると考えられています。

■ 早速、減塩みそ汁にチャレンジ

「具だくさんみそ汁」

【材料】(4人分)

大根100g、豆腐100g、人参40g、ごぼう40g、絹さや4枚しめじ40g、だし汁500cc、油揚げ1枚、みそ(塩分濃度13%)32g



【作り方】

- ①大根、人参はいちょう切りにする。ごぼうはさがきにして酢水にさらしアクを抜く。しめじは小分けにし、絹さやは筋をとり斜め切りにしておく。
- ②油揚げは熱湯で油抜きをし、食べやすい大きさに切っておく。豆腐もさいの目切りにしておく。
- ③具材をだし汁で柔らかく煮、豆腐・絹さやを入れ、一煮立ちしたら火を止め、みそを溶き入れ味を調える。
※このみそ汁は、塩分濃度0.8%で塩分量1.0gです

まずは生活習慣の見直しを

それでは高血圧を防ぐにはどうすればよいのでしょうか。それは食生活、喫煙、運動などをはじめとする生活習慣の見直しにほかなりません。

とくに食事における塩分の取り過ぎはよくありません。

町では、一人一人の健康状態をしっかりと把握してもらおうと特定健診や特定保健指導を実施しています。その結果に基づき、生活習慣の見直し

■ 脳卒中予防10カ条

- ①手始めに 高血圧から 治しましょう
- ②糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- ③不整脈 見つかり次第 すぐ受診
- ④予防には タバコを止める 意思を持って
- ⑤アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- ⑥高すぎる コレステロールも 見逃すな
- ⑦お食事の 塩分・脂肪 控え目に
- ⑧体力にあった運動 続けよう
- ⑨万病の 引き金になる 太りすぎ
- ⑩脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

しの相談に応じています。また健康教室、健康講座を各地区で開催し、健康づくりのお手伝いにも努めています。
脳卒中を予防するため、毎日の生活を一緒に見直ししてみましょう。

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線225



奥田シェフといいでの春をおいしく食べよう会

飯豊産食材の魅力を最大限に

5月28日、ホテルフォレストいいでを会場に「奥田シェフといいでの春をおいしく食べよう会」が開かれました。町内産食材の魅力を引き出す料理法を学ぼうと、町が企画。「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ奥田政行氏(鶴岡市)による講演と料理講習が行われました。食生活改善推進員や飲食店経営者など約20名が参加。奥田氏は、野菜の切り方やゆで方を実演し、「どうすれば素材の味を最大限に出せるのか考えて料理することが大切」とアドバイスされていました。

沖部落 菜の花祭

菜の花に囲まれ、春を味わう



5月8日、中・沖部落で「菜の花祭」が開かれました。当部落では、景観づくりや環境保全の一環として菜の花栽培に取り組んでおり、花の見ごろに合わせて開催。菜種油を使った天ぷらや米粉うどん、餅など地元食材の料理が振る舞われ、地区内外から集まったお客さまは、春の味を堪能していました。実行委員長の佐藤昭一さんは、「地域の交流が一層深まればうれしいです」と祭りの目的を話してくださいました。

第一小学校ユリ球根贈呈式

今年も大きな花を咲かせるぞ



5月6日、どんでん平ゆり園から第一小学校へユリの球根約1,500球が贈られました。同校では、校内に「ハッピーゆり園」と名づけたユリ畑を設け、ユリの栽培を通じた学習活動に取り組んでいます。球根贈呈式で、ゆり園の嘉藤幹夫取締役は「きれいな花を咲かせてください」と子どもたちを激励。早速、全児童175名が学年ごとに手分けし、「大きな花をつけてね」と思いを込めながら丁寧に植えていました。



どんでん平ゆり園「スーパー滑り台滑り初め式」

開花前のゆり園に歓声響く

5月25日、どんでん平ゆり園内に「スーパー滑り台」が完成し、滑り初め式が行われました。滑り台は、全長約6mと約26mの2コースがあり、小さな子どもも楽しめます。さらにゆり園を一望できる東屋も整備。式には関係者のほか第一小の1・2年生53名も参加。早速、児童たちは歓声を上げながら滑り台のスリルを楽しみました。同園の樋口^{てるお}沼雄取締役は「子どもたちの希望で実現した滑り台。家族でゆり園に遊びに来てください」と話してくださいました。

中津川地区で教育旅行受け入れ始まる

思い出をいっぱいくって



5月17日、仙台市立高森中学校を皮切りに、中津川地区では教育旅行の受け入れが始まりました。この日は、同校の2年生58名が来町。13軒の農家に民泊し、農作業や山菜採りなど山村生活を体験しました。生徒からは「東日本大震災で受けた悲しみは大きかったですが、こうして教育旅行ができてうれしい」との声が聞かれました。今年度、同地区には、ほかに千葉県などから5校約320名の生徒が訪れる予定です。

宇津峠バードウォッチング

さえずに耳を澄ませば



5月14日、手ノ子地区の宇津峠でバードウォッチングが行われました。宇津峠の豊かな自然環境に触れてもらおうと、手ノ子地区協議会(井上俊一会長)が企画。指導者には日本鳥類保護連盟専門員の鳥海隼夫先生(米沢市)を招き、町内外から約20名が参加しました。参加者は、鳥の鳴き声や飛び方の特徴などを教わったほか、実際に双眼鏡をのぞき、日本三鳴鳥の一つであるオオルリなどを観察しました。



5/22・23

白川ダムビジョン推進会議「白川湖体験巡視」(白川ダム)



5/24

不法投棄監視委員委嘱状交付式(役場)



5/11

春の交通安全県民運動「交通安全メッセージ伝達」(役場)

直伝おふくろの味

黒豆ジュース

健康食で今話題の黒豆をジュースにしました



【材料】

◇ 黒豆	カップ 1杯
◇ 砂糖	カップ 1杯
◇ 酢	大さじ 3杯
◇ 水	1リットル

【作り方】

- ① 黒豆をさつと洗い、カップ3杯の水で一晩戻す。
- ② ①の黒豆と戻した水にさらにカップ2杯の水を加えて中火で煮る。沸騰したら火を弱め、5分間ほど煮て火を止める。
- ③ ②をざるでこした煮汁に砂糖を入れて溶かし、酢を加える。少し冷ましてから蓋のある容器に移し替え、冷蔵庫で冷やして出来上がり。

※飲むときは、好みで甘さを調節してください。

【飲み方の例】

黒豆ジュース大さじ3杯に対して、½カップの水や炭酸などで割り、氷を入れるとさらにおいしくいただけます。豆乳で割るとカルシウムや食物繊維がとれるのでおすすめです。

(写真の左のグラスは豆乳で割ったもの。右のグラスは炭酸で割ったもの)

黒豆にはポリフェノールが
たくさん入っています

中地区
食生活改善推進員
菅野チヨ子さん

このジュースは、20年ほど前に親戚から教わったものです。これから夏を迎えますので、手づくりジュースで暑さ乗り切ってもらいたいと思います。

材料の黒豆（丹波黒）は家で栽培したものです。ご存知のとおり、黒豆の皮にはポリフェノールやアントシアニンがたくさん含まれています。ポリフェノールの一種のアントシアニンには、抗酸化作用や目の疲れをとったり、若々しさを保つ効果があるそうです。

料理のポイントは、作り方②です。強火で熱を加えず中火でゆっくり煮ることです。また、保存料などを一切使っていませんので、冷蔵庫で保存できる期間は3〜4日間が目安です。

戻した黒豆は、サラダやかき揚げの具などとしても有効利用できます。

どうしてもお子様には市販の飲み物を与えがちになりますが、手作りのジュースも試してはいかがでしょうか。



こどもみらい館の予定表
(6月・7月の日程)

会場/☆印は「あ～す」
ほかは「こどもみらい館」

- 6月15日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 17日(金) 10:30～ 避難訓練
- 25日(土) 10:00～ 子育て合同研修会☆
- 7月1日(金) 10:30～ 栄養士さんのお話
- 6日(水) 10:30～ おはなし広場
- 7日(木) 10:30～ 七夕まつり
- 13日(水) 10:30～ あそびの広場・避難訓練

子育て合同研修会

6月25日(土) 10:00～
町民総合センター「あ～す」

講師：鹿俣体育研究所
鹿俣由美先生

みんなで楽しく体を動かしながら親子のスキルを深めます。参加申し込みは、こどもみらい館まで。

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

「おはよう！」でステキな家族に
「あいさつは魔法のことば」

「こんにちは～ありがとう～魔法のことばで～」。そんなメッセージのテレビCMをご存知ですか？多くの人はあいさつするとき、自然と笑顔になりますよね。笑顔は安心のキーワード。このことが「魔法のことば」の意味ではないでしょうか。

近年、あいさつのできない大人が増えているように感じます。大人があいさつしなければもちろん子どももしません。できないのではなく照れくさいのかもしれませんが。その証拠に子どもたちはこちらから言葉をかけるとすぐに返してくれます。笑顔の準備はできているのです。ぜひ子どもとあいさつを交わしてください。「おはよう」「ありがとう」が当たり前になったら、なんてステキな家族でしょう！ あいさつは相手を思う心の表現。人とのかかわり、つながり、信頼感の第一歩です。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の
おすすめ図書



児童図書

「へんたこさん
せんちょうになる」

いとうひろし/作 偕成社

「船長になって、世界の海を旅してみたい！」それが、へんたこさんのだれにもいえないヒミツでした。かないそうにない夢に向かって、挑戦を始めたへんたこさんは…。



児童図書

「土の色って、どんな色？」

栗田 一/著 福音館書店

黒っぽい関東平野の畑の土、少し赤い佐賀県玄海町の棚田の土、めったに見られない造成地の白っぽい土。パステルのように鮮やかな、いろいろな町や村の土の色を紹介します。

一般図書



「じいじ、ばあばのための
孫育ての教科書」

井上淳子/著 PHP研究所

かわいい孫のために、おじいちゃん、おばあちゃんの出番です。カウンセラー、娘と孫を持つ親として、育児の現場を知り尽くした専門家が、祖父母の役割や孫育ての注意点などをアドバイスします。



一般図書

「ナニワ・モンスター」

海堂尊/著 新潮社

関西最大の都市・浪速府で新型インフルエンザ「キャメル」が発生！パニックの裏でうごめく司法の陰謀。ナニワの風雲児・村雨知事がもくろむ、未曾有の危機への“最後の処方箋”とは？

- 開館時間 午前9時～午後6時（5月～10月）
※土・日曜日は午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



合唱団

飯豊町少年少女合唱団

- ◆指導者／小松伸子さん(長井市)
五十嵐恵美さん(小白川)
- ◆団員／25名
- ◆練習日時
- ①児童クラス／第1・第2・第3土曜日

●飯豊町少年少女合唱団へのお問い合わせは、町教育文化課まちづくり室(町民総合センター「あ〜す」内)まで☎72-3111

- 15:00~17:00 (年長児は15:00~15:40)
- ②生徒クラス／第2・第4土曜日 19:00~20:30
- ◆練習場所／①町民総合センター「あ〜す」
②小松指導者宅(長井市)
- ◆団員募集対象／年長児から高校生まで
- ◆ピーアール

この春、年長児から高校生までの幅広い年齢層の子どもたちが集い、待望の飯豊町少年少女合唱団が設立されました。指導者の小松伸子先生は、「一人ひとりが主要メンバー。子どもたちの個性を大切にして、仲間同士で助け合う心を持った合唱団を目指します」と抱負を話します。いつでも団員を募集しています！



小松さんにとって合唱とは…
生涯にわたって楽しむことが
できるライフワーク

◀小松伸子さん

連載
随想

町長の目と歩き

25

後藤 幸平

「エンジュの木の手下」

それは指先ほどの太さだった。縁起がいい木だからともらって植えた一本のエンジュの苗木。四十年近く経ったいま、わが家の小さな庭の大半を覆いつくすほどに成長した。家の周りにまず木を植えよ、樹木を育てることの意味は後で分かる、こう教えてくれた人がいた。その人もいまは物故者となった。久しぶりに庭に下りてみどりの季節を謳歌する一本一本の樹皮に触れた。いつの間にか大きくなったものだなど過ぎた日の長さを計りつつ、木を植えることを勧めた故人の意図に思いをめぐらした。

エンジュはマメ科の木である。エンジュと同属にハリエンジュがあり、その名よりもニセアカシアとして知られる。外来種のためか気の毒な名前がついてしまった。ぶどうの房の形に繋がった白い花びらは甘く誘うような香りを送り一面に放ち、初夏の訪れを告げる。萩生川の辺りから白川縁の河川敷に群生して郷愁をそよめるのに充分である。ただ、枝にとげがあるのがハリエンジュたる由縁

である。バラと同様に綺麗な花にはとげがあるとの喩えはこのあたりから発祥している。自省したい。いまさらながら、自然のなかで生かされている自分であり社会であることを、大震災を経験して思い知ることになった。人間は謙虚に自然から学ばなければならない。土には「緩衝能」という能力があると、土壌を習うときに最初に教えらる。腐植に富んだ豊かな土ほど投入する肥料の影響を和らげ持続させる作用がある。緩衝能の高い土を作りなさいと。また、作物の生育は必要な養分のうち最小量の養分によって制約されるという「リービッチの最小律」も印象深い。小さいところを補うことが栽培のポイントだという。小さい町を元気にすること

が社会全体の体力を向上させるのだ。エンジュは、根粒菌により、自ら養分を根に蓄え、根元の土を豊かにしながら成長する。木を植えることを勧めた彼の人は、そんなことまで教えようとしたのだろうか。

雇用創出・経済活性化を目指して

町が50%以上出資する5つの第三セクターについて
その経営状況と決算を報告します。

【問合せ先】
役場産業振興課商工観光室
☎72-2111内線250

㈱飯豊町産業開発公社

主要業務：しらさぎ荘の管理運営
所在地：添川3020番地5
設置時期：平成3年10月
資本金：2,000万円
町の出資割合：77.5%
従業員数：10名
22年度売上高：2億2,612万円
当期利益：24万円

夏場の猛暑や冬場の大雪などの異常気象によって来客数が減少。さらに3月11日発生地震によって予約のキャンセルが相次ぎ日帰り宴会利用客や宿泊客が大幅に減少しました。入浴者数は約14万人（対前年比7.3%の減）、宿泊者数は約9,400人（対前年比9.9%の減）となりました。当期純利益は24万円、繰越利益余剰金はマイナス1,883万円となりました。



しらさぎ荘

㈱緑のふるさと公社

主要業務：白川荘および白川湖周辺施設の管理運営
所在地：須郷354番地7
設置時期：平成4年8月
資本金：8,800万円
町の出資割合：86.9%
従業員数：18名
22年度売上高：2億286万円
当期損失：1,604万円

景気停滞と異常気象現象に震災が加わり、きわめて厳しい経営環境の中、ホテルフォレストいいでの冬期閉館によって売上高は大幅に減少しました。入込客数は約12,000人（対前年比12.6%の減）、売上高は約2億200万円（対前年比13.7%の減）となりました。当期純損失は1,604万円、繰越利益余剰金はマイナス6,727万円となりました。



白川荘

飯豊めざみの里㈱

主要業務：道の駅いいで・めざみの里観光物産館の管理運営
所在地：松原1,898番地
設置時期：平成7年5月
資本金：5,000万円
町の出資割合：51%
従業員数：16名
22年度売上高：6億3,150万円
当期利益：112万円

春先からの異常低温で桜の開花、山菜・さくらんぼの生育遅れ、並びに昨年度の天地人効果やシルバーウィークの反動が重なり、苦戦を強いられました。来館客数は約49万人（対前年比4.4%の減）、売上高は約6億3,100万円（対前年比4.3%の減）となりました。当期純利益は112万円、繰越利益余剰金は666万円となりました。



めざみの里観光物産館

㈱どんでん平ゆり園

主要業務：どんでん平ゆり園の管理運営
所在地：萩生3,341番地
設置時期：平成14年1月
資本金：2,100万円
町の出資割合：89.3%
従業員数：1名
22年度売上高：4,678万円
当期利益：5万円

園内レイアウトの変更に伴い促成栽培のゆり数を減らしたことで開園当初は開花ゆり数が少なかったため通常料金でのオープンを見合わせました。開花状況に合わせて段階的に入園料を上げていく変動料金制を導入。猛暑の影響で来園者数は減少し、34,820人（対前年比6.8%の減）。当期純利益は5万円、繰越利益余剰金はマイナス2,001万円となりました。



どんでん平ゆり園

㈱エルベ

主要業務：農家レストランエルベの管理運営
所在地：萩生3549番地の1
設置時期：平成15年4月
資本金：300万円
町の出資割合：78.3%
従業員数：1名
22年度売上高：3,170万円
当期損失：710万円

夏の猛暑や冬期の大雪などの気象変動に加え、役員3名が8月末日を持って辞任したことなど、複数の影響も相まって、売上高は、約3,170万円（対前年比18.5%の減）となりました。当期純損失は710万円、繰越利益余剰金はマイナス705万円となりました。



農家レストランエルベ

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

中学校用教科書展示会

中学校全教科の教科書の見本を展示しますので、ご自由に閲覧ください。

◆期間／6月21日(火)～28日(火)
※6月27日(月)を除く

◆時間／9:00～17:00

◆場所／町民総合センター「あ～す」

◆問合せ先／役場教育文化課学校教育振興室 ☎72-2111内線164、165

「ゆり祭り」将棋大会のご案内

◆期日／6月25日(土)

◆時間

①大人の部／9:00～15:00

②小中学生の部／13:30～15:00

◆会場／中部地区公民館

◆対象／町内外問わず、だれでも参加できます

◆参加料／①1,000円 ②無料

◆申込方法／下記まで電話で申し込み

◆その他／大人の部は昼食を準備しますので、必ず事前に申し込みの上で参加ください

◆問合せ先／中部地区公民館
☎72-2126

**デジサポ山形
地デジ臨時相談コーナー**

◆期間／6月15日(水)～8月26日(金)
※土・日・祝日を除く

◆時間／8:30～17:15

◆設置場所／役場1階

◆内容／無料の携帯電話による受信相談・戸別の電波測定調査や訪問相談など

◆相談電話番号

○受信相談 ☎023-606-1100

○戸別訪問 ☎023-647-2283

◆問合せ先／デジサポ山形
☎023-645-7262

**大型ごみ回収の
申し込みを受け付けます**

大型ごみの収集の申し込みを電話で受け付けます。回収は年1回です。

◆受付期間と回収日

①中、萩生、黒沢、添川

○申込期間／6月20日(月)～7月1日(金)

○回収日／7月11日(月)～15日(金)

②椿、小白川、松原、手ノ子、高峰、中津川

○申込期間／6月27日(月)～7月8日(金)

○回収日／7月19日(火)～22日(金)

◆大型ごみとして回収できないもの

○洗濯機、テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、ノートパソコン、ディスプレイ、パソコン本体、タイヤ、農機具、バイク、ガスボンベ、バッテリー、事業系のごみなど

◆料金／品目によって料金は異なります。金額と支払い方法については、申し込みの際、ご確認ください

◆申込方法／電話で下記まで申し込み

◆申込・問合せ先

役場住民税務課生活環境室
☎72-2111内線131、132、133

**四季のうたを歌うつどい
“夏うた”を歌いましょう**

◆日時／6月25日(土) 14:00～16:00

◆会場／町民総合センター「あ～す」

◆内容／だれでも知っている「夏の歌」をハーモニーを楽しみながらみんなで歌います

◆講師／小松伸子先生

◆参加費／大人のみ1人500円

◆対象／年齢・性別に関係なくだれでも参加できます。合唱の経験も問いません

◆申込方法／下記まで電話で申し込み

◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111

**町議会議員選挙の説明会
のお知らせ**

平成23年8月5日の任期満了に伴う町議会議員選挙が7月21日(休)に告示され、26日(火)を投票日として行われます。そこで、立候補予定者説明会、出納責任者説明会および立候補届出書類事前審査会を下記の日程で行います。

この選挙は町政を託す大事な選挙となります。投票の仕方などは後日お知らせします。

◆町議会議員選挙立候補予定者説明会

◇日時／6月21日(火) 13:30～15:00

◇会場／役場3階委員会室

※立候補を予定している方、または代理人の方は必ず出席してください

※立候補予定者1名につき2名までの参加とさせていただきます

◆町議会議員選挙立候補予定者出納責任者説明会および立候補届出書類事前審査会

◇日時／7月6日(水) 13:30～16:30

◇会場／役場3階委員会室

※立候補を予定している方、立候補予定者の出納責任者をなさる方、または代理の方は必ず出席してください
※立候補予定者1名につき2名までの参加とさせていただきます

◆問合せ先／町選挙管理委員会事務局
☎72-2111内線223

**6月23日から29日は
男女共同参画週間です**

「チャンスを分かち、未来を拓こう」。男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、一人一人が個性と能力を十分に発揮できるように男女共同参画について考えてみましょう。

◆問合せ先／役場総務企画課総合政策室 ☎72-2111内線228

戸籍の窓

(5月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
椿 梅津義浩さん	米沢市 小出愛さん
中 渡部壮扶丈さん	高畠町 竹田亜矢さん

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
添川 横澤蒼祐くん	清美	
椿 堀江桜汰くん	龍弘	
小白川 舟山叶都くん	康貴子	
中 佐藤律樹くん	仁史雪	
萩生 鈴木奏斗くん	義信美	
椿 伊藤愛華ちゃん	巧久美子	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
中 北新田 長岡 留太さん	91	
高峰 中通 井上 一子さん	75	
添川(めい) 齋藤 キミエさん	87	
黒沢 深淵東 加藤 やをさん	86	
手ノ子 向原 松山 繁雄さん	85	
萩生 町西 長谷部 芳郎さん	85	
添川(めい) 伊藤 みよ乃さん	84	
黒沢 坪沼 佐藤 査通さん	77	
椿 駅前 松村 清さん	81	
黒沢(まゆ) 菅野 みよさん	83	
萩生 石原 伊藤 三郎さん	77	
萩生 石原 土屋 道枝さん	78	
添川 大旦 遠藤 吉次さん	78	
萩生 石原 後藤 キヨ子さん	86	
萩生 石原 高橋 久さん	85	

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

5月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,370 (3)	転入	14	
人口	男	3,927 (-4)	転出	11
	女	4,175 (-2)	出生	6
計	8,102 (-6)	死亡	15	

環境保全型農業直接支払交付金の申請について

- ◆対象/下記の条件を満たす農業者・集落営農
 - エコファーマーの認定を受けていること
 - 農業環境規範に基づく点検を行っていること
 - 特別栽培農産物認証を受けていること
- ※上記以外にも具体的な要件がありますのでお問い合わせください

- ◆対象となる取り組み
 - ①化学肥料・化学合成農薬の5割低減の上、次の取り組みを行う場合
 - 主作物の休閑期などに牧草類や麦類などを作付け
 - 主作物のうね間への牧草類や麦類などの作付け
 - 冬期間の水田に漏水防止措置を行い水を張る取り組み
 - ②化学肥料・化学合成農薬を使用しない有機農業

◆交付額/10a当り8,000円を上限として交付される予定です。ただし、まだ額は決定されていません

- ◆申請期限/6月30日(木)まで
- ◆申請・問合せ先/役場産業振興課 農業振興室 ☎72-2111内線260, 262

やまがたゆきみらいシンポジウムのご案内

- ◆日時/7月8日(金) 13:30~16:00
- ◆会場/村山総合支庁北庁舎(村山市)
- ◆内容/テーマ「雪国の資源を生かす雪氷エネルギーの利用」
- ◆参加費/無料
- ◆申込締切/6月30日(木)まで
- ◆申込方法/下記まで電話で申し込み
- ◆申込・問合せ先/村山総合支庁北村山総務課雪プロジェクト推進班 ☎0237-47-8614

東日本大震災に関し 税務署からのお知らせ

- ◆大震災で被害を受けた方へ

大震災により被害を受けた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続を行うことで所得税が還付となる場合があります。そのほか、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例があります。詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

また、地方税についても、住民税、固定資産税、自動車税などの特例があります。

- ◆寄附金・義援金の控除について

被災地への寄附金や義援金を「ふるさと寄附金」の制度を活用して行くと、その年の所得税と翌年度の個人住民税の控除が受けられます。

◆問合せ先/長井税務署 ☎84-1810

わくわくぐりぐら広場

- ◆日時/7月3日(日) 10:30~11:30
- ◆会場/こどもみらい館
- ◆内容
 - お話を聞こう! 絵本・紙芝居の読み聞かせ
 - おさかないっぱいの水族館を作ります
- ◆参加費/無料
- ◆対象/おおむね3歳から小学3年の児童とその保護者
- ※小学生は子どもだけでも参加可
- ◆申込締切/6月29日(木)まで
- ◆申込方法/下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先

町民総合センター「あ〜す」 ☎72-3111

◇「町民の目の届かないところを知らせるのがあなたの仕事。がんばって」。どんな平ゆり園での取材中、同園の樋口詔雄取締役から激励の言葉をかけられました。樋口さんは、町の障がい者福祉の向上に汗を流してきたことで知られ、見識を備えた方。思わず身が引き締まり、はっと我に返りました。町民の皆さんへの情報提供をきちんと果たしているのか。一線を外していかないか。自己満足に陥っていないか。弊紙でお気づきのことがありましたら、どうか皆さまよりお知らせください。(横山)



「菓子の丸屋」さんのにぎわい茶房では、地域の子どもたちがお茶を楽しんでいた。子どもからお年寄りまで「地域の情報交換の場」になっているとお店の方は話す。

現代版「井戸端のにぎわい」へ

にぎわい茶房 町内協力店舗拡大！



昨年12月に3店舗で事業をスタートさせた「にぎわい茶房」は、今年度に入り新たに13店舗が加わって、町内に広がりを見せた。

にぎわい茶房の目的は、誰もが気軽に立ち寄って町の話題を聞いたり話したりできる場を作ること。町が目指す「にぎわい再現」の取り組みの一つだ。

現在参加しているのは、飲食店や小売店、民宿など。「にぎわい茶房協力店」として店舗の中や外の一部を提供し、訪れたお客さまへ無料のお茶や普段のメニューに一品加えた「にぎわいメニュー」を出して、おもてなしをしてもらう。その運営には、利用者の実績に応じて、町から協力を料を支払う仕組みだ。

「町からやってみませんか、とのお誘いを受け、町が元気になるならばと引き受けました」と、事業スタート時から参加している香月・喫茶「木精」(榎)の味田美代子さんは、そのいきさつを話す。

協力店の多くに共通する悩みは、「本業の傍らで参加している」とこと。飲食店や小売店では、本業の商売をおそろかにすることはできず、にぎわい茶房のお客さまに十分に答えられないこともあるという。

農家民宿「ごえもん」(白川)を経営する鈴木みちさんも、「にぎ

interview 協力店の声



お客さまと会話が
弾むきっかけに

香月 喫茶「木精」

味田美代子さん (写真右)
梅津美樹さん (写真左)

町外からのお客さまへにぎわいメニューをお出しするときは、「これは町の“にぎわい再現”の取り組みです」と説明しています。お客さまは感心され、飯豊町の話に弾みがつきます。



なかつわ農家民宿の方が提供するにぎわいメニューを拝見。どれも「家にあるもので」とのこと。飾らない素朴さが町外からのお客さまに受けている



普段どおりの自然
体でおもてなし

農家民宿「ごえもん」

鈴木みちさん

「にぎわい茶房」ののぼりを見て、観光で来町されたお客さまが、「お茶が飲めるんですか?」と立ち寄ってくださることもあります。普段のお茶請けをお出しするのですが、「おいしい」と喜んでくださいます。



「茶房」は商売にも
貢献しています

菓子の丸屋

樋口文子さん (写真右)
安部潤子さん (写真左)

小学生や中高生の方もお茶飲みに来てくれます。若い人の元気な声で店内の雰囲気は明るくなりました。また、お子さまの口コミで家族の方がお菓子を買って来てくれてとても感謝です。

にぎわい茶房協力店

名称	所在
cafe ぼたじえ	萩生
香月 喫茶「木精」	椿
草刈商店	添川
上田スポーツ店	椿
堀呉服店	萩生
農家民宿「いろいろ」	岩倉
農家民宿「いからし新家」	白川
農家民宿「善左衛門」	白川

名称	所在
農家民宿「いからし本家」	白川
農家民宿「長作」	白川
農家民宿「ごえもん」	白川
農家民宿「中村」	遅谷
菓子の丸屋	萩生
宮城商店	上原
坂爪薬店	椿
ひらすび牧場	手ノ子

Nigiwai Cafe



わい茶房の看板を玄関に掲げていても、民宿や家のことで留守にすることもあります。本業の喫茶店のように、なかなかいかないのが現状です」と肩をすぼめる。

そんな事情を抱えながらも、それぞれの協力店は工夫を凝らしながらにぎわい茶房を運営している。中には成果として「お客さまとの会話が増えた」との声もある。

前述の味田さんは、「にぎわい茶房を始めてからお客さまに声を掛けやすくなりました。『お茶でもどうですか?』と声を掛け、この事業のことを説明しています。町外の方とは話が弾み、町の観光を紹介することもあります」。

また、菓子の丸屋(萩生)の樋口文子さんは、「おかげさまで、地域の人たちもお茶飲みに来店してくださいます。子どもからお年寄りまで地域の情報を交換できるので、ありがたいですね」とにぎわい茶房に参加した効果を話す。

にぎわい茶房が現代版の井戸端となるのか。町の試みは緒に就いたばかりだ。

KEY PERSON INTERVIEW

Watanabe Yuichi



渡部雄市委員長

委員の皆さんからの要請を受け、このたび、第2期にぎわい再現プロジェクト委員会の委員長に就任することになりました。

私は、第1期の2年間も委員として活動してきました。その間に議論してきたことをさらに進展させ、行動に移したいと思い、もう一度委員になることを決めました。

前回は「復刻版！椿劇場」のような成功例を引き継ぎながらも、新しいアクションを起こしていくことが大

切だと考えます。委員の考えを最大限に引き出し、まとめていくことが私の仕事です。委員の皆さんはきっと個性豊かな方ばかりだと思います。どうか遠慮することなくどんどん自己主張してください。

委員会で議論していくにあたり、町のどこにどんな地域資源があるのか、自分たちの足で巡り、確かめることを提案しています。自分たちの町をよくするには、足元をよく知ることから始めることが大切だと思うからです。

Takahashi Emi



高橋エミ副委員長

私の中では「にぎわい」とは何なのか、まだ漠然としています。副委員長に選ばれましたので、委員一人一人が楽しく活動ができることを第一に、その雰囲気づくりに努めたいと思います。ちなみに委員会には「NPO法人ほっと」から私を含め4人参加しています。

Abe Munekazu



安部宗和副委員長

「飯豊町のことが大好きだ」という理由で、委員に申し込みました。町のにぎわいには、衣・食・住が満たされていることがまず第一だと考えています。副委員長として、委員長をしっかり支えられるようがんばります。これから委員の皆さんとのどんな議論ができるか楽しみです。

「自分たちの手で作ることができる。日常のにぎわい」はないか。それを皆さんが議論し、新たに創造してもらいたい」

5月12日、第2期となる「にぎわい再現プロジェクト委員会」の初会合が町民総合センター「あす」で行われ、集まった委員に向けて後藤町長はこう期待を述べた。

町内外から公募で集まった委員は23名。第一期の13名から大幅に増員した。委員会の最終的な目的は、町に対し「にぎわい再現」を実現するための発案や提言、または企画を実行すること。町長が効果的だと判断すれば、町は予算化をする。

委員長には渡部雄市さん（小白川）、副委員長には高橋エミさん（高峰）と安部宗和さん（小白川）がそれぞれ選出された。

平成21年4月に発足した第一期のプロジェクト委員会では、町の将来を洋上で語る「いいで未来号」やウォーキング啓発運動「てくてくらぶ」、「復刻版！椿劇場」などに取り組んだ。

しかし、町民の間からは「委員会の成果が見えてこない」との声も聞かれ、町全体の関心を高めるまでには至らなかった。

「にぎわい再現とは、町の抱える課題を解決しようとする原動力にある」との結論を導きながらも、

課題を見つけ行動できるかが鍵

委員会が出されたいくつかの案をまとめきれず、具現化できなかった反省点が残った。

新しい委員会には、前回の経験を教訓とし、違った発想と手法で取り組む姿勢が必要だ。渡部委員長は、第1期でも委員を務めている。前回の反省点を踏まえて委員会を引っ張っていつてもらいたい。23名という多数の委員の意見をまとめる手法として、委員会を3班に分けることが検討されている。委員の中には「にぎわい再現」という漠然としたテーマにまだ戸惑う声もあるが、「再発見」「イベント」「食と産業」などを課題に話し合おうという動きが出てきた。

今後の目標の設定や具体的な計画づくりは、委員会が主体的に行う。行政から課題を与えるのではなく、委員会が町の課題を発見し、解決のための方策を考え、町民を巻き込みながら実現していくことが求められている。

「委員の皆さんには、委員会の活動を通して、町の将来を担う人材となってもらいたい」と役場産業振興課プロジェクト推進室の担当者は期待を寄せる。

にぎわい再現プロジェクトは第2ステージに入った。委員のモチベーションを維持し、自らで課題を見つけ行動できるかが、鍵になりそうだ。



プロジェクト委員会は第2ステージへ。
“にぎわい”の具現化を果たせるか。



始動

にぎわい再現プロジェクトII

委員一覧

(五十音順)

氏名	住所
穴久保 真紀	萩生
安部 学	小屋
安部 宗和	小白川
伊藤 美紀	高峰
伊藤 儀宝	高峰
川崎 光	椿
菊地 秀則	小白川

氏名	住所
木村 朋弥	椿
小池 和子	添川
小林 正巳	南陽市
佐藤 光恵	高峰
高橋 エミ	高峰
高橋 奈緒美	高峰
高橋 弘司	岩倉
高橋 勝	添川

氏名	住所
田中 俊昭	手ノ子
手塚 奈緒子	萩生
長岡 恒平	中
長岡 三恵子	中
長沼 央	手ノ子
長谷川 恭太	椿
渡部 麻衣	萩生
渡部 雄市	小白川

文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真(大) / 中津川地区にある上屋地遺跡。穴は発掘跡
写真(小) / 石器などの出土品は、山形県源流の森にも展示されている

Treasures in Iide Town

9

上屋地遺跡

selection

平成2年度町指定文化財史跡指定

Interview

守り続ける人たち



中津川地区公民館職員

高橋 亮さん
(白川)

祖先が残した遺跡は地元の誇り

上屋地遺跡は、羽越水害（昭和42年）の被害調査の際に偶然発見されたものです。当時は、「県内最古の遺跡」とされ、地元ではとても誇りに感じたものでした。発掘された石器などの出土品は、「源流の森」や、「うきたむ風土記の丘考古資料館」（高島町）で見ることができ、祖先の暮らしを知ることができます。

遺跡のほかにも、当地区の地層からは、貝などの化石が出ることがあります。大昔は海か湖だったことが推測でき、太古へのロマンを感じずにはられません。

毎年、遺跡周辺をボランティアで草刈りしてくださいます中津川地区の民生委員・児童委員の皆さんには、この場を借りてあらためて感謝申し上げます。

解説

上屋地遺跡

中津川の上屋地遺跡は、白川沿いの左岸にあり、九才沢林道の入口の丘で、川床面からの高さ23mの段丘上に位置する。

昭和43年から46年までの4年間にわたり、山形県総合学術調査会や県立博物館が発掘調査を行った。

出土した石器は、今から約3万～5万年前の旧石器時代のもので推定される。石器の製法や形態などの検証から、北京原人と現世人類の中間に位置する人類が使用していたと考えられる。

県内でも古い遺跡の一つであり、平成2年2月に町の史跡に指定された。